

空軍長官 来訪 SecAF visits Yokota

February 1, 2018

By Airman 1st Class Juan Torres
374th Airlift Wing Public Affairs

インド太平洋地域を歴訪中のヘザー・ウィルソン米空軍長官が1月30日、横田基地を訪問した。

今回の訪問では、即応、近代化、革新、リーダー開発、パートナーシップの強化を掲げるウィルソン空軍長官の空軍のこの先の優先事項が示された。

訪問中、ウィルソン空軍長官は全ての階級の空兵を対象に全体集会を開き、空兵たちの懸念や考えにも耳を傾けた。

ウィルソン空軍長官は「空兵と会い、使命を考察し、指導者たちをどう導けるか、また、空兵たちに必要なものを把握し持ち帰りたい」と語った。

また、ウィルソン空軍長官は、太平洋地域における日米同盟の重要性についても語った。

「インド太平洋地域の平和と安定を維持するうえで、米国は同盟国と重要な役割を担っている。いかなる国も、自国の力だけで強くはなれない。同盟国との連携が必要である。この地域における、日米と他の同盟国との関係は、非常に重要だ」とウィルソン空軍長官は述べた。

ウィルソン空軍長官は、横田基地の空兵と接し、基地の状況や使命を達成するために必要とする仕事量について理解を深めた。

「空兵と接し、有意義な時間を過ごした。ペンタゴンを離れ、現場の様子を視察し、隊員たちの創造性や能力を発揮する力を感じ入ることに意義を感じる」とウィルソン空軍長官は述べた。



1月30日、横田基地でインタビューに応じるヘザー・ウィルソン空軍長官。インタビューの中で、ウィルソン空軍長官は、空軍のこれからの優先事項について語った。



全体集会で空兵を前に話をするウィルソン空軍長官。ウィルソン空軍長官は、フィリピンと韓国に駐留する空兵および同盟国の代表と接見する予定。